


# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 愛媛県 宇和島市 】

学校名【 宇和島市立和霊小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第5学年64名 (特別支援学級児童含む) 第6学年61名 (特別支援学級児童含む)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間、体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、オリンピック・パラリンピック教育への関心を高め、スポーツを通して、知・徳・体の調和の取れた人材を育成する。また、スポーツの価値や効果の再認識を図り、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材の育成を図る。
5 取組内容	(1) 事前学習 (8時間) ア 「オリンピック・パラリンピックについて知ろう！」(1時間) ○ 映像資料「I' mPOSSIBLE」を見ながら、オリンピック・パラリンピックに関するクイズに取り組み、オリンピック・パラリンピックの概要を学ぶ。  イ 「オリンピック・パラリンピック調査隊」(2時間) ○ 自己の課題を設定し、インターネットを活用してオリンピック・パラリンピックについて調べ、新聞にまとめて発表する。

## 東京2020 オリンピック・パラリンピック

<p><b>マスコット編い</b></p> <p>オリンピック・パラリンピックのマスコットは2種類あります。ソメイティとミライトワです。この2つについて調べました。</p> <p><b>ソメイティ</b></p> <p>名前の由来は桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「So mighty」から生まれました。</p> <p>桜の瓣をもち、おどろきの強さを見せつけソメイティ。東京2020を通じて桜を愛する日本の心とオリンピック・パラリンピックアスリートの素晴らしい印象を残します。</p> <p><b>ミライトワ</b></p> <p>名前の由来は「未来」と「永遠」という2つの言葉を組み合わせた言葉から生まれました。名前に込められた意味は素晴らしい意味を永遠にです。</p> <p>東京2020を通じて世界のみんなに希望に満ちた未来をいつまでも残します。</p>	<p><b>オリンピックマーク編い</b></p> <p>オリンピックのマークには、5色の輪を並べて環状に作り、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニアの5大陸と、その相互の融合・連帯を意味しています。</p> <p><b>パラリンピックのマーク編い</b></p> <p>パラリンピックのマークは、人間の最も大切な3つの要素である「心（スピリット）」、「魂（マインド）」、「肉体（ボディ）」のそれぞれを表現した3色の丸を並べ、丸を並べた3つの丸の間に「P」の文字を配置し、パラリンピックのマークであることを意味しています。</p>	<p><b>東京2020大会新種目編い</b></p> <p>オリンピック オリンピックには33種目が行われます。来年の新種目は野球・ソフト、空手、スケートボード、スノーボードパラメータ、スケートボードパラメータが採用されました。</p> <p>東京オリンピックは7月24日から8月9日に行われます。</p> <p>パラリンピック パラリンピックには22種目が行われます。来年の新種目はバドミントン、テコンドーが採用されました。</p> <p>東京パラリンピックは8月25日から9月6日に行われます。</p>
<p><b>アイコンドー・空手編い</b></p> <p>「アイコンドー」とは、何かから学びたいと思う人、あるいは何かを学ぶ人から学ぶことです。</p> <p>アイコンドーは、何かから学びたい人、あるいは何かを学ぶ人から学ぶことです。</p> <p>アイコンドーは、何かから学びたい人、あるいは何かを学ぶ人から学ぶことです。</p> <p>アイコンドーは、何かから学びたい人、あるいは何かを学ぶ人から学ぶことです。</p>	<p><b>調べた感想</b></p> <p>オリンピック・パラリンピックのことを調べて、来年行われる東京2020大会にとても期待をもちました。</p> <p>私は空手をしています。来年から空手種目が入るのでとてもうれしく思っています。</p> <p>空手のオリンピック種目として入るとは、とてもうれしく思っています。</p> <p>日本の選手にたくさんがんばってほしいです！</p>	

### ウ 「オリンピックを知ろう！」(2時間)

- 講師で来ていただく井村久美子氏（オリンピック陸上競技・走幅跳選手）について調べる。

井村久美子 日本の陸上競技選手で、北京オリンピック日本選手。走幅跳の日本中学記録、日本学生記録をもつ。100メートルジュニアハードル日本中学歴代2位の記録をもつ。

生年月日 1981年1月10日(38歳)

身長 166cm 体重 53kg 生誕地 山形県酒田市

走幅跳、6m86cm(2006年)

100mH、13秒02(2007年)

2013年(平成25年)6月7日、日本選手権に出場するが、5位に終わる。同日、現役引退をする。

### (2) 井村 俊雄氏による講演 (1時間)



### (3) 井村夫妻による実技指導 (2時間)



(4) 事後学習 (2時間)

ア 「オリンピック・パラリンピックを広めよう！」

- 自分たちが作成したオリンピック・パラリンピック新聞を掲示して、全校のみんなに知らせる。

イ 「オリンピック・パラリンピック学習を振り返ろう！」

- パラリンピアンから学んだことや感じたことを振り返り、学習のまとめをする。

◎ 井村さんのお話の感想を書きましょう。

私は井村さんのお話を聞いて心に残ったのが2つあります。1つ目は、よくねることです。最初は本当にねることだとタイムがはやくなったりねのかなと思いました。しかしお話を聞いていると本当にタイムがはやくなるのだと思います。私もはやくねようと思いました。2つ目は、できると思ったりできないと思ったりできなかったり。私はできないと思ってしまう。でもお話をきいてできないときめつけずにがんばるみようと思いました。お話をきいてこれからはよくねることとできると思うことをがんばるよう思いました。ガイスタジアムへ行きチームワークの大切さを学びました。みんなと力を合わせて行動できよかったです。これからもみんなと仲良くしたいです。

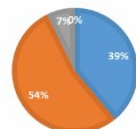
6 主な成果

- (1) クイズや映像資料「I'm POSSIBLE」を用いた事前学習により、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念、競技種目についての理解を深めることができた。
- (2) 調べ学習を通して、オリンピック・パラリンピック競技への興味・関心を高め、フェアプレーやチームワークの精神を身に付けさせることができた。
- (3) 井村夫妻による講演と実技において、一流の選手の生き方や考え方を学ぶだけでなく、夢に向かって努力することの大切さを学ぶことができた。
- (4) 事後学習のアンケート結果から、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心や 2020 年東京大会を実際に見てみたいという思いが高まったことが分かった。

【アンケート結果】

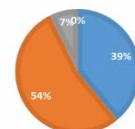
1 学習を通して、オリンピックに興味がありましたか。

■ とても興味があった ■ 興味があった  
■ あまり興味があった ■ 興味があった



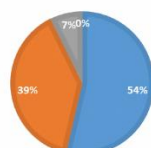
2 学習を通して、パラリンピックに興味がありましたか。

■ とても興味があった ■ 興味があった  
■ あまり興味があった ■ 興味があった



3 学習を通して、東京オリンピックを見に行きたいと思うようになりましたか。

■ とても行きたい ■ 行きたい ■ あまり行きたい ■ 行きたい



4 学習を通して、東京パラリンピックを見に行きたいと思うようになりましたか。

■ とても行きたい ■ 行きたい ■ あまり行きたい ■ 行きたい



<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>本校は、放課後の陸上運動練習や駅伝・マラソン練習を継続して行っており、歩いて数分の場所に宇和島市丸山公園陸上競技場（ガイスタジアム）もあるため、陸上競技のオリンピックの招へいを希望した。当日は、井村俊雄氏に体育館にて講演をしていただいた。その後、宇和島市丸山公園陸上競技場（ガイスタジアム）に移動し、走り幅跳びとハードル走の実技指導をしていただいた。また、オリンピックの井村久美子氏による走り幅跳びとハードル走の模範試技も行っていた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>(1) 直接講師との打合せができず、事前に講演や実技の内容を把握することができなかつたため、講師の意向を十分に反映させることができなかった。また、遠方より来られたため、時間に限りがあることや日程調整も難しかった。</p> <p>(2) オリンピック・パラリンピックの競技をいろいろ体験させたかったが、道具や安全面、時間の関係でできなかった。</p> <p>(3) この機会に高まったオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を持続させる方法や、スポーツが苦手な児童に対する支援の在り方を考えていく必要がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>(1) 今年度の反省を生かし、全体計画・年間指導計画を作成し、一部の学年や学級だけで行うのではなく、学校全体で組織的・計画的に実施する。</p> <p>(2) 児童が、オリンピック・パラリンピックについて質・量ともに十分に学習するための時間を確保する。そのために、教育課程内外を問わず、現在実施している各教科、行事等の中に位置付ける。</p> <p>(3) 学習の効果を高めるために、映像教材や体験活動、ウェブサイトなどを十分に活用する。</p> <p>(4) 保護者や地域住民の参加を促す取組や、学校と家庭とが連携する学習方法などを積極的に取り入れる。</p>